

NEW PHASE

～いつも気持ちを新たに、新しい風にのせて～

2021.4 No.38

contents

- 2020年度 沖縄県女性海外・国内セミナー「第37期女性の翼」 1
第27回沖縄県女性の翼宿泊研修会
第2回、第3回翼講座 2
北中城村議会 初の女性副議長就任 3
おきなわSDGsパートナーに登録 4
女性の翼 OK基金・賛助会員コーナー 5
賛助会員募集
2021年度定時総会のお知らせ 6

2020年度 沖縄県女性海外・国内セミナー「第37期 女性の翼」

日時 2020年10月15日(木)～17日(土) 場所 リザンシーパークホテル谷茶ベイ

2020年度の沖縄県女性海外・国内セミナー「女性の翼」は、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け県内で行いました。正会員指定研修として、第37期、研修者（那覇市、浦添市、宜野湾市、嘉手納町、石垣市）8人の参加で三日間行われました。

一日目の午前中は、奥村会長の沖縄県女性の翼の理念や事業の講話でした。午後の講話一つ目で、真喜屋氏は、ある読書会に参加したことからいろいろな方に出会い、ドイツの健康靴を扱うマキの靴を設立しました。その頃、女性の翼との出会いがあり、アセアン4カ国を訪問しました。海外研修で学んだことに加え、心理学、ジェンダー論、男女平等を勉強してきました。結びに、女性が女性を押し上げていく人であつてほしいと述べられました。

二つ目の講話、高里氏は、世界中を回り活動し、多くの女性たちと出会い、女性の人権、差別などの現実について問題を提起しました。

二日目の午前中は、OISTの保育園・学童のセンター園長のジュリア氏は、グローバルな環境で働く中、

「自分は、なんでもできるが全部はできない」・「自分の時間に何をするかを考えることができる」となど働く母としてマネージャーとしての思いを楽しく伝えました。

二日目の午後からは、第27回宿泊研修会へ参加し、SDGsの取り組みや沖縄文化等について学び、夕方には多くの会員と懇親会を深めました。

三日目の講話の一つは、参加型ワークショップで進められました。講師の浦崎氏は、多様性の時代に求められるリーダーシップとは夢があり、みんなと共有し実践できることであると述べられました。

二つ目の講話で、伊禮氏は、プロトコールの5原則（国際儀礼）、心の在り方と自己表現力をまとめたものがマナー、気配りの3原則など輝く女性のための基本マナーについて伝授しました。

【一日目】
●「沖縄県女性の翼の理念や事業について」（会長 奥村啓子氏）
●「先輩に聞こう！」



奥村啓子沖縄県女性の翼(会長)



研修参加者

【二日目】
●講話「さよならアメリカ、ここにちは沖縄！」（ワーキングママとしてマネージャーとしてグローバルな環境で働く）（ナブホズ・ジュリア氏）（OISTチャイルドディベロップメントセンター園長）
●12時30分以降は、第27回宿泊研修会へ参加

【三日目】
●講話「ダイバーシティ時代に求められるリーダーシップ」
(17期 浦崎美紀子氏)
●講話「輝く女性の基本マナー」
(34期 伊禮典子氏)

（2期 真喜屋光子氏）
●講話「世界の女性たちに会って、つながって！」（高里鈴代氏）（強姦救護センター・沖縄 [REICO] 代表）

賛助会員コーナー

自ら光り輝く

「元始、女性は実に太陽であった。真正の人であった。今、女性は月である。他に依って生き、他の光に依って輝く、病人のような蒼白い顔の月である。さて、ここに『青鞆』は初声を上げた。」

ご承知のように、前文は平塚雷鳥が「青鞆」創刊号発刊の辞に寄せた冒頭文である。雷鳥は、時代が作り出す女性像に反発し「真の自由解放」を目指す。大正・昭和と婦人参政権、母性の保護等、女性の権利獲得に奔走。戦後は、反戦・平和運動に関わった天才的な女性でありました。

令和の現代、雷鳥が目指した女性自ら光り輝く太陽への復権には程遠いが、現在の思想潮流は太陽と月に象徴される二元論から多元論へと向かいつつある。かような状況下、時期尚早かとも言われた「沖縄県女性の翼」の法人化は、誠に時宜を得た勇気ある決断であったと思います。

雷鳥が「見性」体験の人であれば、沖縄の女性は「オナリ神」だ。法的人格を持つ「沖縄県女性の翼」が、政治、宗教等の違いを乗り越え、多様性ある共同参画社会実現に向けてカジを取る役員及び会員が自ら光り輝く太陽となるよう祈念して、今後の益々のご活躍にエールを送ります。

寄稿 のづかさけい

寄付者一覧

OK基金への寄付	
株式会社大川	ているるパートナーズ
伊是名 夏子	新垣 幸子
新垣 幸子	仲里 マサ子
募金 (47件)	（2020年4月13日～2021年3月31日）
匿名 (7名)	（敬称省略・順不同）
（2020年10月～2021年3月31）	

ご寄付くださった皆様に心より感謝いたします。沖縄県女性の翼事業の目的達成のため大切に使わせていただきます。

女性の翼・OK基金

“あなたとわたしの笑顔がみんなの HAPPY”を合言葉に2020年8月にSDGs活動の一環として、女性自立支援のために大川グループの社会貢献の支援を得て「女性の翼・OK基金」を創設。

DV被害者やひとり親でお子さんを養育している方、さまざまな理由により貧困状態にある単身者等、自立を始めるに当たり一人当たり5万円を上限に物品や支援金を支給しております。

現在、寄付金12件、募金50件 2021年3月末で合計1,726,369円となり、支援金交付は2020年9月から2021年3月までに12件、カーテン、テレビ、食卓、洗濯機、冷蔵庫、クーラー等の購入費535,468円支援しました。

そして、2021年3月から公益法人みらいファンド沖縄のプログラム「たくす」の活用し寄付金募集活動がスタートしました。

翼会員からの募金や個人、民間団体からの寄付で多くの方と共に活動を行っております。

これからも応援を宜しくお願ひいたします。



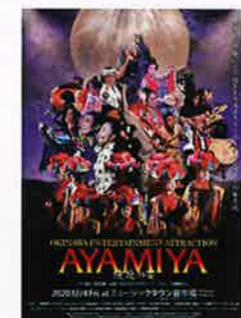
会員増強委員会の活動

琉球王朝時代から受け継がれてきた伝統芸能 ～AYAMIYA～

主催者である沖縄市から30名のご招待をいただき、会員増強委員の活動として賛助会員の皆様と共に観劇しました。



作・演出
新垣健氏



沖縄の暮らしを豊かに。

大川家具グループがはじめた
ひとりひとりが安心して暮らせる
居場所づくりの社会活動報告

沖縄 大川



表敬訪問

JICA沖縄 浦添市前田
所長 倉科和子氏

2021年2月1日付新所長に就任。
調達・派遣業務審議役(東京)からの異動
3・8国際女性デーに向け沖縄のマスクコ
ミが女性問題に強い関心を示している状
況等意見交換を行いました。(3月2日)



(左から2番目)倉科和子氏

台北駐日経済文化代表處那覇分處
(那覇市久茂地)處長 范振國氏

2018年7月より現職
（3月5日）



(右から2番目)范振國氏

北中城村議会で初の女性副議長 喜屋武すま子さん(28期団長)が就任

喜屋武すま子さんは2020年12月北中城村の「12月議会」で副議長に選ばれ、就任しました。

「議会事務局に勤務していました頃、上司は男性でしたが仕事のチャンスをたくさん与えてくれました。この環境と「仕事を断らない」精神で進んできたことが議会活動に生かされています。

条例・規則・法令、事例の調べ方を徹底的に学んだ経験は、議会の流れを把握でき仕事に戻ることはありませんでした。

行政に関わり定年退職後、地域活動を続けながら両親への恩返しをいたしました。行政に共感していましてほしいです」と女性の翼へのメッセージも下

ことはありませんでした。

また、私は、夫の口癖「政治はみんなのものであります」と把握でき仕事に戸惑うことはありませんでした。

また、「女性の翼の活動を通して得られた経験を生かし、体験談を語る場を共有し、学ぶことによって懸命となり、さらに一生懸命となります」と女性の翼へのメッセージも下さいました。

また、「女性の翼の活動を通じて得られた経験を把握でき仕事が出来る環境を整えたいと思ったからです」と述べられました。



（左）喜屋武すま子氏
（右）新垣幸子氏

南城市女性の翼の会は、地域翼の会として7番目の組織として二〇一八年六月に設立しました。登録会員数は八人ですが、視察や学習会、市長要請活動等を行っています。活動の周知と理解に繋げようと初の「つばさだより」も一月に発行し、行政や議会はじめ市内の各組織・施設へ配布しました。

コロナ感染予防対策として各団体から2人までの参加となり、翼から2人が参加しました。沖縄県子ども生活福祉部女性力・平和推進課課長 横原千夏氏の「男女共同参画社会について～でいごプランって何？」の講演が行われました。

講演に引き続き要請決議、及び集会アピールの採択が行われました。

「女性の地位向上のため選択的夫婦別姓制度の実現」、「クォータ制の導入」など5項目にわたる内容が採択されました。

南城市は男女共同参画の取り組みが弱く、直近公表の県指標では、県内市町村中最下位です。

女性の活躍を推進後押しするためには地域に分散する女性力を結集し、ベクトルを同じ方向に

する必要がありますが、まずは自分たちの活動を充実させていくことから無理なく進んでいこうと思います。



南城市女性の翼の会
会長 安次富和美

賛助会員 募集中！

あなたも、女性の翼を応援する
一員になりませんか

・賛助会員は、女性リーダー育成の応援団！

・海外セミナー派遣や各種活動を助成する応援団！

※賛助会員の方へも講座や研修会の参加案内を致します

ひとりひと声で増員のご協力を！
個人も団体も可能です。
(年会費 個人3千円／団体1万円)



2021年度 定時総会のお知らせ

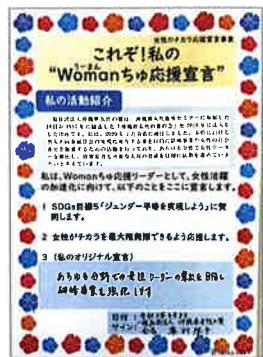
日時:2021年5月22日(土)
9時30分受付 10時開会～13時
会場:ロワジールホテル那覇

総会終了後、予定しておりました親睦会は「沖縄県新型コロナウイルス蔓延防止措置」が延長されたため中止する事に致しました。総会と JICA 沖縄の倉科和子所長による記念講演は予定通り行います。

Womanちゅ応援宣言

沖縄県で、女性活躍の環境整備の一環として、組織内の改革・社会の意識改革の促進を図るため、県内のさまざまな分野のリーダー等に、女性のチカラを応援する宣言“Womanちゅ応援宣言”の募集があり参加しました。

沖縄県女性の翼



ホームページの充実

広報委員会では、ホームページの充実を図ってきました。今年1月には「アーカイブ」、「海外セミナー事業」、「宿泊研修」、「企業研修」、「国際交流事業」など更新しました。是非ご一読ください。今後もできるだけ早めの更新を心がけます。皆様のご感想をお待ちしております。

こんな本読んでみませんか

「時代を彩った女たち 近代沖縄女性史」
琉球新報社編

沖縄県女性の翼、事務局の本立てにあります。女性の翼のすてきな先輩のお話も載っています。(沖縄県男女共同参画センター「ているる」2階に図書情報室も活用ください。)



編集後記

今回から賛助会員の紹介をさせていただくことができました。地域翼コーナーもシリーズ化しました。また、こんな本読んでみませんかコーナーを新設しました。多くの方々へ、「女性の翼」情報を提供していきますので、ご一読ください。なお、New PHASE の発行番号を今回から「一社・沖縄県女性の翼」の前身、「沖縄県女性の翼の会」のニューフェイズに引き続き連番することになりました。



賛助会員続々入会/
一般社団法人 沖縄県女性の翼

